



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

…会員随時募集中！…

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内 TEL/FAX: 0467-47-1164 木曜を除く 10時~16時
Web URL: <http://www1.ocn.ne.jp/~ya-yato/> E メールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp



8/21
富士塚小5年
畔の草刈り



8/26 深沢小教員 畔の草刈り

もくじ

☆各班からのお知らせ→2・3p
☆谷戸の自然だより→4p
☆谷戸往来→p5
☆谷戸の体験学習→6・7p
☆9~11月の日程表(裏表紙)

“激暑”とまで言われ、水枯れが続いた夏でしたが、谷戸の農作物はすくすくと順調に育っています。それとともに谷戸の草木もぐんぐんと勢力を増し、刈っても取っても、すず風になってもまだまだ勢いづいています。当分の間は草との戦いです。谷戸の秋の訪れを感じながら、草刈り作業にどなたでもご参加ください。

★(財) かながわトラストみどり財団「平成 25 年度森林及び里山における活動支援事業助成金」の交付が決定しました。

各班からのお知らせ



田んぼ班

★9/1(日)ネット張り、15(日)すがい作り・はさ設置場所の草刈り
★28(土)、29(日)はさ作り

私たちが稲の生長を助けるためにできることは、田の草を取り除いて水と栄養を取られないようにし、かき混ぜて稲の根に酸素を送ることぐらいしかありませんが、あまりの猛暑のため、取り残しのコナギを気にしながらも、作業を早く切り上げることが多い夏でした。8月中旬、稲の開花が始まり、もう田んぼへは入れません。もう少し水が欲しいですが、ため池からも全く水が入ってきません。田んぼがひび割れるほどではないのが救いです。まっすぐ出穂した稲穂は受粉後日増しに傾いてきます。黄金色になるのを見守りながら、稲刈りに向けてすがい作り、はさ作りを進めていきたいと思っています。



7/25 田の草取り



畑班

★9/1(日)大根・かぶの種蒔き ★8(日)たまねぎ・にんじんの種蒔き
★15(日)、29(日)草取り・草刈り・耕し ★22(日)冬菜の種蒔き

今年の夏は例年にない暑さだったにも関わらず、毎回の活動日にはたくさんの方が参加してくださり、熱



8/11 ごまの手入れ

中症予防のためにこまめに水分を取ったり、木陰での小休止を挟みながら、予定していた作業をすべてこなすことができました。今、さつまいもやさといもの葉が生い茂り、たのくる豆、落花生、ごまには可憐な花が咲き、行く夏を謳歌しているようです。これから、冬野菜の種蒔きが始まります。

「大根十耕」という言葉があり、しっかり耕してよい土を作りたいので、つい鋤を握る手にも力が入りますが、そんなときに吹き抜ける涼風が心地よく、身も心も癒されます。



雑木林管理班

★9/8(日)、15(日)アズマネザサの刈り取り
★22(日)刈払機で草刈り

猛暑の中、土手や水路周りの草刈り、アズマネザサ刈りお疲れ様でした。土手の草刈りシーズンはほぼ終わり、9月10月は田んぼ作業の手伝いのかたわら、雑木林の手入れ作業を始めていきます。



7/14 セイタカアワダチソウ抜き



農芸班

★9/13(金)草木染め

下漬けの終わった梅に赤ジソを仕込みました。塩もみアク出しをして梅酢を加えると鮮やかな紫ピンクの色になりました。天日干しを終えて今年も美味しい梅干しができ上がりました。9月にはセイタカアワダチソウなどを使って草木染めをします。雑草を駆除することで染色を楽しみながら、在地植物の保護にも一役かうことができます。



7/24 梅干し作り



自然遊び班

6/23(日)「里山探検隊」では、山崎の谷戸の一部である台峯緑地を、子どもの頃この辺りで遊んだおじさん(かっちゃん)と一緒に歩き、草木を観察したり、昔話を聞いたりしました。おじさんが作ったいろいろな大きさの竹笛を鳴らし、竹トンボを飛ばし、



6/23 里山探検隊「竹で遊ぼう」

子ども達同士もなじんで来た様子でした。



6/23 里山探検隊「竹で遊ぼう」

★9/15(日)子ども里山一日体験「草木染め」

会報56号で「藍の生葉染め」と案内をしましたが、藍の成長不良のため、セイタカアワダチソウで染めものをします。こちら小さな子どもも楽しく簡単に染められます。ご参加お待ちしております。



生態系保全班

★9/2(月) バッタやコオロギの分布

★9/7(土)、10/5(土) 秋の虫の音を聞く ★10/27(日)野鳥観察

草で覆われた水路の草刈りをしました。トンボなど生きもののためにも水路の草刈りが必要です。この暑さで、田んぼの水温が43℃を記録しました。ヤゴがゆだり、カエルの赤ちゃんが気を失っていました。水源を計ると19℃とこの暑さにも関わらず冷たさを保っていました。



8/19 水量調査

夕方になると秋の虫の声も聞こえ始めました。9月、10月と連続で秋の虫の観察会を行います。同じ虫でも時期により変わって聞え、続けて参加すると違いを感じることができると思います。



パックテスト(水質調査)



植物育成班

★9/18(水) 植物調査 ★23(月・祝) 秋の野草を見る

★10/2(水) 湿地の花畑を見る ★9(水) 湿地の植物観察

猛暑と戦いながら、この夏も帰化植物除去に努めました。今年は、本田で急増しているアズラ(帰化植物の赤浮草)の駆除にも力を注ぎました。また、ツル植物の除去も続けて



ツリフネソウとミゾソバ

います。毎年取り続けているため成果が徐々に出てきました。湿地の植物を守るため、全部の草を除去せずに、手作業で、ツル植物(カナムグラとクズ)のみを選び分けて駆除しています。ツリフネソウ、ミゾソバなど、秋にはたくさんの花々が湿地を彩ることを期待しています。



8/19 ツル植物の除去作業

谷戸の自然だより

～里山（雑木林）が荒れるとは？ その3～

前号の続き・・・

⑨荒れた竹林

鎌倉では荒れた竹林が増え、雑木林を浸食しています。竹林が荒れて、生態系により影響を与えることはなさそうです。手入れをして、みなに親しまれる美しい竹林を取り戻せればと思います。

⑩畑の跡地 2m位のアズマネザサが密生している。尾根沿いに点在

かつて山の中にあった畑は、今やアズマネザサ（以下ネザサ）に覆われてしまいました。このような場所は植物の種類が少なく、虫や鳥もあまり利用しません。畑に戻せないまでもネザサを刈りこんで、昔はたくさんあったススキの生える原っぱを復元できればと願います。山崎の谷戸では、もめんばたけの奥にこのような場所がありますが、モズなど野鳥が営巣（田んぼ周辺）したり、カヤネズミの営巣地（もめんばたけ奥）になっていることが判りました。山崎の谷戸のように、市民の手で里山の手入れが始まっている地域は、事前の調査と部分的にササを刈り残す配慮が望まれます。

⑪田んぼの跡地にハゼやミズキ、フジが生える

かつて田んぼだった所はアシやオギの湿地になっていますが、畔にハゼやクワなどの木が生えてきました。長年放任していると、湿地が林のようになってしまうことがあります。鎌倉では湿地も貴重な環境なので、基本的には湿地に生えた木は切るべきでしょう。その一方で、ウツギなどの低木が適度に刈り残されていると、野鳥や昆虫の生息地として役立ちます。また、湿地の中にヘイケボタルの生息地が点在していますが、このような場所は湿地の上に被さった枝を残す配慮が必要です。

⑫散策路沿いのネザサ、アオキ、ツル植物

かつて農道だった散策路は、植物が茂り、路肩が崩れて狭くなってしまいました。人が歩いていけば道がなくなることはありませんが、放任していると草木が茂って歩きにくくなりますし、アオキやササ、ツル植物が繁茂して、野草の種類も少なくなってしまいます。最低、年一回は手入れが必要です。手入れの際は、無差別に刈らず、ネザサとアオキ、クズ、カナムグラを中心に刈っていくと植物の種類が豊富になり、自然観察に適した散策路となります。

以上、私なりの経験をもとに、鎌倉の里山の荒れ方についてまとめてみました。昔と今では、里山を取り巻く状況が変わっており、昔のように戻すと言っても、自然を豊かに保つにはそれなりの配慮が求められます。昔よりはるかに狭い面積で何とか生きものを守れないか？ 不特定多数の人の利用にいかに対応するか？ 里山の荒廃で新たに出現した環境、増えた生物をどのように生かすか？ 次号以降で考えてみたいと思います。

谷戸の裏方⑦ ～ 麦茶 ～

今年の猛暑の中の作業で、会員の喉を潤してくれたのは、香ばしく甘い麦茶です。もちろん谷戸で収穫した大麦で作ったものです。5月に5kgほどとれました。初めての大量収穫です。そこで、事務局員が毎週、深炒りしてから煮出して、日曜日の作業に提供しています。とはいえ、昨今は慣れない麦茶作り。焦がしが足りない、煮出しが足りないと言いますが、毎回試行錯誤で、よりおいしい麦茶作りに挑戦中です。



4月 大麦畑



山崎の夏まつりに参加

7/21(日)、今年も担ぎ手として当会から6名が参加しました。



鳳凰がくわえるのは谷戸の稲

鎌倉市教員実技研修会

5/8(水)、隔月に行われている鎌倉市全域の教員研修として、谷戸の保全活動に13名の方が参加されました。【感想】☆ここは体験学習の指導者がいるのでいいなあと思いました。☆このような場所があることを初めて知りました。☆深沢小の先生の理解の深さがわかりました。



夏休みの教員補助作業

8/21(水)、26(月)に、体験学習の受け入れ校である富士塚小から2名、深沢小から15名の先生方が、小段谷戸の畔の草刈りに訪れました。日頃の授業時間ではゆっくり話せない中、貴重な交流の場ともなりました。富士塚小の子ども達も11名参加し、稲の花を観察し、畔の草刈りに精を出しました。(写真/表紙)【感想】☆体験学習を子ども達以上にとても楽しんでます。(富士塚小 山下) ☆この自然を地域で大切にしていけたらと思います。(深沢小 広瀬) ☆草を刈っていると夢中になり楽しかったです。(深沢小 澤田) ☆作業の大変な部分を子ども達にどう伝え

ていくかが課題です。(深沢小 尾形)

子どもお泊り里山体験、無事終了

7/28~29、鎌倉市公園協会との共催でお泊り体験を実施しました。小学4~6年生の22名が参加し、山の手入れのお手伝い、竹で器づくり、かまどで炊事と、里山の暮らしを味わいました。みんなで作った3体のかかしが、稲の番人として活躍してくれることでしょう。【感想】☆とても楽しかった。☆ホテルが楽しかった。☆こわいはなし(川上さんのはなし)がおもしろかった。☆また参加したい。☆ご飯を作ったのが楽しかった。おいしかった。☆かかし作り、器づくりが楽しかった。



作ったかかしを立てよう!

日産クリエイティブサービス視察

7/14(日)、厚木市の公園指定管理者、日産クリエイティブサービスより、里山保全公園の運営に向け視察がありました。実際にボランティア活動を体験して、各班が和気あいあいと多様な保全作業をしていることなど、会員の活力に驚かれています。【感想】☆体力勝負の作業に、とても高い志を持って活動されているんだなと思いました。炎天下の畑も、急斜面の草刈りも、機材が必要な雑木林の管理もそれぞれにきつい作業の先の楽しみがあるのだなと思いました。